

研究課題名	ウイルス性肝疾患患者の通院中断の傾向と肝炎医療コーディネーターの役割拡充にむけた検討
研究期間	2025年 11月 28日 ~ 2030年 3月 31日
研究の対象	2023年4月~2028年3月までに本院消化器内科（肝）へ紹介となり、肝炎医療コーディネーター（以下肝 Co）が介入したウイルス性肝疾患患者さん (初診時に終診となった患者さんは除外とします)
研究の目的・方法	研究目的：本院の肝臓専門医へ紹介された患者さんを対象に、通院中断の傾向を明らかにすること 研究の方法：診療録（カルテ）情報や肝疾患相談室のデータベースを調査して行います。
研究に用いる試料・情報の種類	研究に用いる情報 1. カルテから使用する内容は身長、患者氏名、ID、年齢、性別、肝炎検査結果、肝炎の病期、キャリアの認識の有無、主診療科、薬物使用犯罪歴、刺青の有無、就労の有無、家族構成、居住地、治療状況、通院状況、FUS 登録更新の有無です。 2. 既存の肝疾患相談室の相談データベースから使用する内容は、肝 Co が面談を行った際の相談項目です。 試料・情報の管理責任者：広島大学病院 看護部Ⅰ外来 看護師長 板谷恵美
利用または提供を開始する予定日	2025年11月28日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	研究責任者 広島大学病院 看護部Ⅰ外来 看護師長 板谷恵美
その他	研究者の柘植雅貴氏はギリアード・サイエンシズ（Gilead Sciences Inc）、Abbvieにおいて、講演を行っており、講演に対する謝金を得ています。しかし、本研究においては、柘植雅貴氏が解析等に携わらず、研究の実施や解析、結果の解釈等に影響を及ぼすことはありません。また、利益相反に関しては本学の臨床研究利益相反管理委員会で管理しています。 本研究に使用した情報は将来、肝疾患患者におけるフォローアップや肝炎医療コーディネーターの役割拡充に関する研究に使用させていただく可能性があります。その場合は、改めて倫理審査委員会

	にて承認された後、研究機関の長の許可を得て使用します。研究概要は広島大学の人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開ホームページ（ https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspx ）へ掲載します。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-1541 広島大学病院 看護部Ⅰ外来 看護師 増田 幸子</p>